


様式 3

概要報告書

事業種別	広域安全事業
団体名	公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会
事業名	少年問題シンポジウム
<p>公益社団法人全国少年警察ボランティア協会はさる11月12日、東京・港区虎ノ門のニッショーホールにおいて全国の少年警察ボランティアなどを集めたシンポジウムを開催した。今回のシンポジウムには、少年警察ボランティアをはじめ、警察職員、学校関係者ら450人が参加し、4時間にわたり基調講演やパネルディスカッションを熱心に聴き入った。21回目となる今回は「次代を担う少年の育成のために～非行少年を生まず少年が犯罪被害にあわない社会づくり～」をテーマに、家庭、学校、地域において果たす役割と必要とされる活動について、各方面の担当者が意見を交わした。開会の冒頭には、遠山敦子・同協会会長の挨拶に続き、来賓である辻義之・警察庁生活安全局長が挨拶をした。その後、渡辺弥生・法政大学文学部心理学科教授が「少年の心の発達に寄り添う支援～思いやりと自尊心を育てる～」をテーマに講演した。また、パネルディスカッションでは、専修大学人間科学部心理学科・村松励教授をコーディネーターに、宮寺貴之・科学警察研究所犯罪行動科学部少年研究室長、川崎達也・東京都東村山市立東村山第七中学校校長、佐藤久子・埼玉県警察少年非行防止ボランティア連絡協議会副会長、小高陽子・千葉県警察本部生活安全部少年課課長補佐の4人のパネリストとコメンテーターとして渡辺弥生氏も加わり、それぞれの会見を述べるとともに、会場から寄せられた質問にも答えながら、活発な討議が行われた。</p>	
	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。